

# 房総 だより

(農)房総食料センター

千葉県山武郡横芝光町上原 368-1

<http://www.boso.or.jp/>

☆産地情報をお知らせします。

発行：2016年6月8日

## -お米ってスゴイ！-

この地方では、田植えから1ヶ月が経過し、田んぼが緑を増してきました。1株に3~4本程度に植えられた苗は、20本以上に茎(くき)を増やし、丈も伸びてきたからです。

稻(イネ・米)を $1,000\text{m}^2$ (300坪)の栽培するのに、4kgの種類(たねもみ)を使います。秋には、550kgのお米が収穫できます。一方、同じ穀物の小麦では、8kgの種で350kgの収量です。小麦が45倍になるのに対し、稻では、140倍に増えることになります。

日本の食料自給率が、40%以下という異常が続く中、主食用の米は、ほぼ100%を自給できています。

私たち房総食料センターの生産者は、消費者の皆さんと手を取り合って、お米と水田を守っていきます。



## -2016年春夏査定会(じゃがいも)-

この時期、各品目の春夏査定会、秋冬作付会議が行われています。じゃがいも部会の査定会の様子をお伝えします。

各生産者がじゃがいもを持ち寄り、品質や作柄の様子を確認しました。今年のじゃがいもは、肌も良く、品質も良く安定して出荷出来そうです。天候にめぐまれたのか、肥大は良好です。ここ数年収量がとれず苦戦してきましたが、今年はじゃがいもがたくさんとれ、おいしいじゃがいもがお届けできそうです。



秋冬作付会議の様子